

一般質問

市政のいまを問う

この定例会では、11月30日から12月2日までの3日間で、16名が登壇し、38項目にわたり、市政全般についてたまた一般質問が行われました。

一人一項目を要約し、掲載します。

一般質問項目（発言順）		※印が掲載した項目です。
稲垣 雅弘 議員	※1 刈谷城について	
鈴木 絹男 議員	※2 刈谷豊田総合病院駐車場について	
鈴木 絹男 議員	※3 吹戸地域の避難所について	
新海 真規 議員	※4 空き家対策について	
加藤 賢次 議員	※5 カキツバタ保護活動と湿地サミットについて	
黒川 智明 議員	※6 基金の設置と運用について	
黒川 智明 議員	※7 刈谷市歴史博物館について	
黒川 智明 議員	※8 災害時における通信について	
黒川 智明 議員	※9 被災者支援システムの推進に向けた取り組みについて	
山内 智彦 議員	※10 行政運営の意識改革について	
山内 智彦 議員	※11 伝統的建造物の保存と活用について	
星野 雅彦 議員	※12 刈谷市内の高齢者の介護の現状と課題について	
星野 雅彦 議員	※13 刈谷市の高齢者の介護の現状と課題について	
白土 美恵子 議員	※14 読み書き支援の充実について	
白土 美恵子 議員	※15 発達障がいについて	
白土 美恵子 議員	※16 食品ロスについて	
渡邊 妙美 議員	※17 強度行動障害について	
渡邊 妙美 議員	※18 安心して出産できる環境づくりについて	
渡邊 妙美 議員	※19 介護ロボットについて	
中嶋 祥元 議員	※20 刈谷市内の駅の分譲について	
中嶋 祥元 議員	※21 刈谷市の高齢者の介護の現状と課題について	
新井 健治 議員	※22 健康と貧困対策について	
新井 健治 議員	※23 熊本地震の治水強化について	
新井 健治 議員	※24 熊本地震の治水強化について	
野村 武文 議員	※25 「住民の福祉の増進」による内需拡大について	
野村 武文 議員	※26 お城建設の白紙撤回について	
野村 武文 議員	※27 歴史博物館の方向性について	
清水 俊安 議員	※28 事業所内保育所について	
清水 俊安 議員	※29 小丘江地区における市街地の整備について	
上田 昌哉 議員	※30 刈谷駅北口の再開発について	
上田 昌哉 議員	※31 刈谷市民の体の健康、こころの健康づくりについて	
山本 シモ子 議員	※32 子ども・保護者に寄り添った特別支援学校運営について	
山本 シモ子 議員	※33 70歳以上医療費無料の実施について	
山本 シモ子 議員	※34 介護保険の総合事業移行への整備状況について	
山本 シモ子 議員	※35 平和行政の取り組みについて	

一般質問のすべての質問・答弁がホームページから映像でご覧になれます。「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。

稲垣 雅弘 議員

「DMO」の設置で、魅力と賑わいエリアの創出を

熊本の震災を受け、刈谷城復元に関する実施設計を見合

わせたことだが、これにより生じた時間を活かし、刈谷城や歴史博物館を「点」としての整備で終えるのではなく、亀城公園周辺一帯を魅力と活力のある「面」として、エリアを創出してほしい。歴史・文化・自然・観光等多様な関係者と明確な方針を策定し、賑わいあるエリアづくりを着実に推進する組織として「DMO」の設置を要望する。刈谷城復元の指針となる熊本城の復旧スケジュールは。

鈴木 絹男 議員

吹戸川流域住民の避難所として、市外施設の利用は

知立市の施設へ速やかな避難ができるよう調整していく

台風や集中豪雨の際、吹戸川流域の野田町吹戸、北孤神地域の住民はどこに避難するのかが、最寄りの避難所である東刈谷小学校や東刈谷市民センターになる。

黒川 智明 議員

市民が主役!!楽しく学び、歴史を紡げる博物館に

様々な人の意見を取り入れ、企画運営に活かしていく

歴史博物館を拠点に、亀城公園や周辺地域の史跡をめぐりコースを設定していくことだが、具体的な内容は、「歴史の小径」の城下町周辺コースを軸として、150箇所以上の史跡を見所を関連づけていくために積み立てる「特定目的基金」がある。

星野 雅春 議員

伝統的建造物を利用して城下町のイメージづくりを

現在と過去を結びつけることは重要と考える

伝統的建造物を保存・活用することは重要である。市内に建造物の有形文化財はいくつあるのか。また、文化財指定の条件は。

白土 美恵子 議員

乳幼児健康診査においてゲイズフラインダーの導入を

他自治体の運用実績を注視し、調査・研究していく

発達障害は、できるだけ早いうちに、適切な治療とサポートを受けることが重要である。本市における早期発見の取り組みは。

山内 智彦 議員

将来の市の発展のために他市を凌駕する人材育成を

前例にとられない柔軟な発想ができる職員を育成していく

熱中症対策として、後頭部から首全体を覆うことのできる工夫された帽子を市内の園児は着用しているが、採用経緯は。幼稚園や保育園の先生など、現場からの声や保護者の意見を参考に園長会で協議したのち、平成15年度から順次導入している。

稲垣 雅弘 議員

昨年度は210日、延べ2,623人の利用があった。

また、障害者団体が行う障害者スポーツについては、施設予約を優先的にを行い、無料でご利用

黒川 智明 議員

世代間の財政負担の平準化のために新たな基金の設置を

「財政状況とのバランスなどを考慮しながら検討を進めていく

本市は12の基金を設置しているが、設置目的はどのようなものがあるか。

加藤 賢次 議員

道路新設改良などの都市交通施設の整備を着実に進める

ための財源として、新たな基金の設置を考えている。現在、基金の設置に向けて、対象となる事業、その総事業費などを関係

黒川 智明 議員

市民が主役!!楽しく学び、歴史を紡げる博物館に

様々な人の意見を取り入れ、企画運営に活かしていく

歴史博物館を拠点に、亀城公園や周辺地域の史跡をめぐりコースを設定していくことだが、具体的な内容は、「歴史の小径」の城下町周辺コースを軸として、150箇所以上の史跡を見所を関連づけていくために積み立てる「特定目的基金」がある。

渡邊 妙美 議員

安心して子どもを出産し、育ち育てられる環境の整備を

引き続き、ともに考え、ともに取り組む支援を実施していく

子育て応援室」では、保健師等が様々な相談に応じている。

中嶋 祥元 議員

高齢者にとって、安全・安心な仕組みづくりを

高齢者の地域活動を支援する仕組みを構築していく

市民の要介護者の人数を勘案すると、特別養護老人ホーム(特養)と介護老人保健施設(老健)が不足していると思うが、今後の整備計画は。

山内 智彦 議員

将来の市の発展のために他市を凌駕する人材育成を

前例にとられない柔軟な発想ができる職員を育成していく

熱中症対策として、後頭部から首全体を覆うことのできる工夫された帽子を市内の園児は着用しているが、採用経緯は。幼稚園や保育園の先生など、現場からの声や保護者の意見を参考に園長会で協議したのち、平成15年度から順次導入している。



市内で親しまれているツインバスケットボール



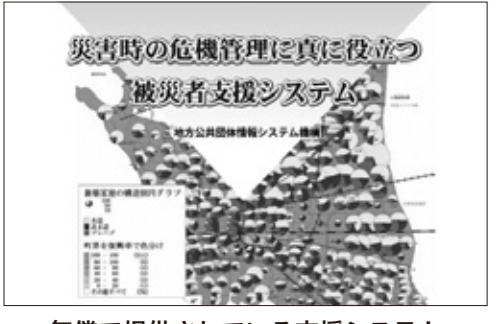
楽しんで学べる展示を(先進都市の展示事例に学ぶ)



ぜひお越しください!! 妊娠・子育て応援室



介護予防ポイント事業の拡充を(活動の様子)



無償で提供されている支援システム 西宮市ホームページより

山内 智彦 議員

将来の市の発展のために他市を凌駕する人材育成を

前例にとられない柔軟な発想ができる職員を育成していく

熱中症対策として、後頭部から首全体を覆うことのできる工夫された帽子を市内の園児は着用しているが、採用経緯は。幼稚園や保育園の先生など、現場からの声や保護者の意見を参考に園長会で協議したのち、平成15年度から順次導入している。

(主な答弁者)・市長

熱中症対策として、後頭部から首全体を覆うことのできる工夫された帽子を市内の園児は着用しているが、採用経緯は。

幼稚園や保育園の先生など、現場からの声や保護者の意見を参考に園長会で協議したのち、平成15年度から順次導入している。



園児を日差しから守るために導入された帽子

発信で全国普及させることにより、他市の追随を許さない「役

(主な答弁者)・都市政策部長

熊本の震災を受け、刈谷城復元に関する実施設計を見合

わせたことだが、これにより生じた時間を活かし、刈谷城や歴史博物館を「点」としての整備で終えるのではなく、亀城公園周辺一帯を魅力と活力のある「面」として、エリアを創出してほしい。歴史・文化・自然・観光等多様な関係者と明確な方針を策定し、賑わいあるエリアづくりを着実に推進する組織として「DMO」の設置を要望する。刈谷城復元の指針となる熊本城の復旧スケジュールは。

(主な答弁者)・生活安全部長

吹戸川流域住民の避難所として、市外施設の利用は

知立市の施設へ速やかな避難ができるよう調整していく

台風や集中豪雨の際、吹戸川流域の野田町吹戸、北孤神地域の住民はどこに避難するのかが、最寄りの避難所である東刈谷小学校や東刈谷市民センターになる。

(主な答弁者)・福祉健康部長

伝統的建造物を利用して城下町のイメージづくりを

現在と過去を結びつけることは重要と考える

伝統的建造物を保存・活用することは重要である。市内に建造物の有形文化財はいくつあるのか。また、文化財指定の条件は。

(主な答弁者)・福祉健康部長

乳幼児健康診査においてゲイズフラインダーの導入を

他自治体の運用実績を注視し、調査・研究していく

発達障害は、できるだけ早いうちに、適切な治療とサポートを受けることが重要である。本市における早期発見の取り組みは。

(主な答弁者)・市民活動部長

市民が主役!!楽しく学び、歴史を紡げる博物館に

様々な人の意見を取り入れ、企画運営に活かしていく

歴史博物館を拠点に、亀城公園や周辺地域の史跡をめぐりコースを設定していくことだが、具体的な内容は、「歴史の小径」の城下町周辺コースを軸として、150箇所以上の史跡を見所を関連づけていくために積み立てる「特定目的基金」がある。

(主な答弁者)・市長

将来の市の発展のために他市を凌駕する人材育成を

前例にとられない柔軟な発想ができる職員を育成していく

熱中症対策として、後頭部から首全体を覆うことのできる工夫された帽子を市内の園児は着用しているが、採用経緯は。幼稚園や保育園の先生など、現場からの声や保護者の意見を参考に園長会で協議したのち、平成15年度から順次導入している。